

第3回 多久市総合計画審議会 議事要旨

1 日時

令和7年12月12日（金）14時00分～15時30分

2 場所

本庁4階 大会議室西

3 出席者

【委員】 総合計画策定委員（17名）

（欠席） 3名欠席

【事務局】 総合政策課、有限責任監査法人トーマツ

4 議事要旨

（1）後期基本計画素案について

後期基本計画素案について（資料1・2）、事務局から説明を行った。

審議会委員からの主な意見等は以下のとおり。

委員意見	事務局回答
・（前回の審議会で出た、「空き家バンク成約数のみでなく、登録数と成約率も成果指数にいれるべきでは」という意見について）実際の空き家の数を把握しているのであれば、それを施策に入れていくのがよいではないかという意味合いで発言した意見だった。	・空き家の調査は今年度実態調査を実施したばかり。その中で活用できそうな空き家などが空き家バンクに反映されているかなど内部で把握しているので、そちらを生かしていきたいと考えている。計画への記載はこのままで進めていく。

（2）人口ビジョン・総合戦略について

人口ビジョン・総合戦略について（資料3・4）、事務局から説明を行った。

審議会委員からの主な意見等は以下のとおり。

委員意見	事務局回答
・定住施策で若者に定住してもらうとあるが、具体的な案はあるのか。	・転入者数は過去5年で上がっているが、転出者がそれを上回っているのが現状。まずは出ていかない施策を打っている。メインターゲットは子育て世代となっているが全体として考えているので、交流人口を増やしながらし市の魅力アップにつなげていきたい。

<p>・若者を集めるために誘致する企業の考えはあるか。多久市にはファストフードやファミレスなどもなく、若者向けのアプローチができていない。</p>	<p>・今までは工場関係の誘致がメインだったが、関係課に意見を共有し、商業向けの誘致も検討していく。</p>
<p>・買い物する場所が多久市にはなく、バスで武雄まで通っている。高齢者が買い物できる場所があればいいと思うが、市ではどう考えているか。</p>	<p>・商業施設の誘致としては議会にも意見が上がっており、関係課と連携して誘致を検討していく。</p>
<p>・5-5の施策で、定住奨励金はどの自治体でもやっている。この施策自体は効果がないのではないか。</p> <p>・観光系で中国人が減っているとあるが、あまり困っていない、あまり損益はないと聞いている。嬉野市は欧米の方に長期滞在してもらうようにシフトしている。多久市も観光資金を落してもらうという意味では、外国人の方を呼ぶ施策を考えたいのではないか。</p>	<p>・貴重な意見として承らせていただく。</p>
<p>・（地域おこし協力隊の任期後の定住者数について）多久市に期待して訪れたが、期待外れだった、ということが推察できる。今後は多久市の現状をきちんと説明してから来てもらうのがよいのではないか。</p>	<p>・地域おこし協力隊の方の活動にはミッションをつけている。ミッションをもとに来ていただき、3、4年後にどうなっていくかという前提で携わっていただいている。集落支援員、地域おこし協力隊ではそれぞれ役割があり、役割を生かして地域の活性化につなげていきたい。</p>
<p>・市長が選ばれたとき、市立病院の跡地に道の駅を作りたいという話をしていた。道の駅で販売するものを供給しないと長続きしない。農作物を含めて、一品運動を進めるのがいいのではないかと考えている。そういった役割を支援員や協力隊の方々に担っていただくとよいのではないかと考える。</p>	<p>・貴重な意見として承らせていただく。</p>
<p>・子育て支援について、小さい子どもが生まれた情報がなく、交流する機会がない。子どもが生まれたとき、地域のほうから手を差し出していければ、あじさいや学校に通い始めてからでなくとも、未就学児からでも地域の子どもとして育てていくことはできるのではないか。</p>	<p>・以前は地域の連携で子どもを見守っていたが、今は保護者の意向などもあり、つながりが薄いこともある。いただいた意見は関係課で共有していく。</p>
<p>・多久市の目玉となるような施策がないと、30年前と変わらない計画を繰り返しているように思う。特に力を入れる施策を打ち出してほしい。</p>	<p>・総合戦略にて人口や地方創生に特化した施策を打ち出している。</p> <p>今後の施策を作るうえで参考とさせていただきます。</p>
<p>・市外の方からはスクールバスが出ていいねと言われるが、中学生（7・8・9年生）は乗れないので、雨の日だけでも乗せてあげられないか検討してほしい。</p>	<p>・今現在も距離によっては中学生も乗れるが、雨の日などの対応については担当課に意見を共有する。</p>

<p>・江北町からの路線バスがない。高校の生徒の獲得ではいろんな地区からの人が欲しいが、パイの取り合いになっている。多久市は地理的要件がいいので、アクセスさえよければ来てくれるのではないかと考えている。今現在、自転車通勤している生徒は少なく、親の送迎が多い。</p>	<p>・市町をまたがる公共交通機関を確保するのは民間事業者との兼ね合いなどもあり難しい。今はない路線で需要があるところに関しては状況確認しながら進めていきたい。要望等があった旨は把握しておく。</p>
<p>・企業誘致について、多久市の魅力をもっと発信して有名な企業などが誘致できたら人が集まってくると思っている。市民や行政ができることは違ってくると思うが、多久のアピールをしていければと考える。</p>	<p>・貴重な意見として承らせていただく。</p>
<p>・五年後の多久市を文章だけではイメージがわからないので、絵で未来想像図を計画に載せたらどうか。</p>	<p>・デザインについては今後考えていく。他の自治体だとイメージ図や写真を載せたりなどしているので、いただいた意見については参考にしていきたい。</p>
<p>・中学校、小学校に子どもが通っている。一クラスしかない学校では、多久市の場合は9年間同じ人間関係が続く。学外で交流があるが、9年間同じメンバーで社交性が育たないまま通わせていいのかと考えている。市が今後のために考えていかなければならないことなのではないか。</p> <p>・学力を指標としているが、学力で測れないものや、安心して通える学校づくりを目指してほしい。</p>	<p>・貴重な意見として承らせていただく。</p>
<p>・後継者が集まらないことで、伝統芸能が続けられない現状。多久市をアピールするためにも伝統芸能を残していきたい。</p>	<p>・地域の伝統芸能は大切なものと認識している。どんなバックアップをしていくかは即答できかねるが、後継者不足に関しては関係課と連携して方策を考えていく。</p>